

ふくおかステップアップ企業応援プロジェクト

2024年4月～2025年3月実施予定

(1) ふくおかフードビジネス支援事業

(福岡県中小企業振興センター)

【課題】

5か年にわたって県産農林水産物等を活用した商品の販路拡大支援を行い、一定程度の商品開発が進んだが、事業者の規模が小さいため、依然として次の3つの課題を抱えている。

- ①市場における商品認知度が低い。
- ②設備投資する資金力がないため、生産能力が低い。
- ③市場が大きく購買力がある都市圏に進出する術がない。

令和5年度は商品のブランド化に取組み、都市圏での販路開拓を支援したが、ブランドが確立できるまでには至っていない。



【目的】

◆県産農林水産物を活用した付加価値の高い商品の開発とその商品の販路拡大による農林漁業者の所得向上や商工業者の収益拡大を図る。

◆地域資源を活用した地域の隠れた逸品をIT等を活用し広くPRすることにより商品認知度を上げ販路拡大につなげる。



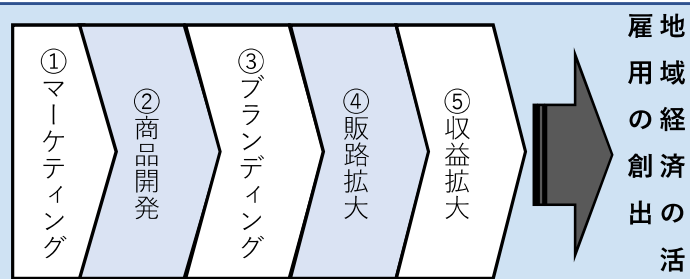
【都道府県の施策との連携・親和性】

県は福岡県中小企業振興基本計画に基づき以下の取組を推進

- ・情報通信技術、商談会等を活用した販路開拓支援
- ・新たな商品及び役務の開発の促進
- ・アジアをはじめとする海外展開の促進

【本事業の内容】

ふくおかフードビジネス支援事業



①マーケティング

- ・消費者ニーズを分析し、付加価値の高い商品コンセプトを構築する。

②商品開発

- ・マーケティングの結果に基づいたマーケットインの商品開発を行う。
- ・高い品質管理と原価低減を両立する生産体制を確立する。

③ブランディング

- ・完成した商品についてクオリティの高いネーミング、パッケージデザイン、キャッチコピー、販促物品を制作し、高付加価値化を図る。

④販路拡大

- ・市場が大きく購買力が高い都市圏の市場を開拓する。
- ・ITを活用し、ECの販路を開拓する。

⑤収益拡大

- ・域外からの資金を獲得し、事業者の収益を拡大する。それを域内需要の拡大につなげるにより、地域経済の活性化を図る。

雇用地域の経済活性化

①-1 販路拡大セミナー

マーケティングやブランド化の手法について、理解を深めてもらうセミナーを開催する。

①-2 モニター調査会

試作品に対する一般消費者の生の声を聴き、ニーズを探る機会を提供する。

② 専門家派遣

各分野の専門家がチームで商品開発の支援を行う。

③ バイヤー求評会

大手流通小売業のバイヤーを招聘し、商品に対する評価をもらい、商品力を向上させる機会を提供する。

④-1 市場開拓・販路拡大

大型展示商談会、都市圏での展示販売会を通じて販路の拡大を支援する。

④-2 IT活用販路拡大

○情報発信の強化
バイヤー・消費者の関心が高い情報を取材し、自営情報サイト及びSNS等で情報の拡散を図る。

○自営通販サイトの活用

地域資源を活用した商品の新規販路拡大の場として、ネット活用を促進する。

○商品体験会の開催

事業者主体の商品活用体験イベントの実施により、地域商材ならではの魅力を直接体験させるとともに、SNS等で高い発信力を持つ参加者を活用して情報の拡散効果向上を図る。

【成果目標】

- 商談会
 - ・120件の商談設定
 - ・25件の商談成立
- 商品開発・改良支援
 - ・20件
- IT活用販路拡大
 - ・8,000人の見込み客獲得
 - ・BtoC売上拡大 20社
 - ・BtoB商談成立 30社



【波及効果】

◆商品開発及び商談のノウハウ蓄積による営業力、販路拡大能力の向上

◆IT活用による地域商材を求めるネットユーザーの囲い込み

◆地域資源を活用した地域の隠れた逸品の商品認知度向上

◆県内農業者及び中小企業者の売上拡大による地域経済の活性化



【将来の支援目標】

◆本県の農林水産物を利活用した付加価値の高い商品を開発し、首都圏やアジアをはじめとする海外の市場を開拓

ふくおかステップアップ企業応援プロジェクト

2024年4月～2025年3月実施予定

(2) 新分野参入・受注拡大支援事業

(福岡県中小企業振興センター)

【課題】

下請け加工は、社会情勢や価格競争の影響を受けやすく、中小企業の持続的経営に支障をきたす要因にもなりうる。

経営基盤強化のためには、自社コア技術を活かして安定的な受注が確保できる産業への参入が望ましいが、要求される加工品質・管理レベル等が非常に高く、さらに一定期間同産業での経験等が条件となることも稀ではない。

【目的】

新規参入障壁は高いが、参入後は安定的な受注量確保が見込まれる医療機器産業および今後急速な伸びが見込まれる半導体関連産業への参入・受注拡大を支援する。

医療機器産業に対してR3年度より参入支援として展示・商談会を実施しているが、本年度は同事業を継続するとともに、半導体関連産業等への参入支援に加え、過年度同展示・商談会において参入済み企業の量産品受注拡大を支援することにより地域産業の活性化を図る。

【都道府県の施策との連携・親和性】

県は福岡県中小企業振興基本計画に基づき以下の取組を推進

- ・情報通信技術、商談会等を活用した販路開拓支援
- ・新たな商品及び役務の開発の促進
- ・アジアをはじめとする海外展開の促進

【本事業の内容】

新分野参入・受注拡大支援事業

発注側

- ◆新規参入障壁は高いものの、今後の市場拡大が見込め、参入後は安定的な受注確保が期待できる産業および今後急速な伸びが見込まれる産業

医療機器産業、半導体関連産業等

受注側

- ◆精密加工、素材加工など高度な加工技術を有し、参入障壁が高い医療機器産業および急速な伸びにより設備部品加工・メンテナンス等広範囲な受注が見込まれる半導体関連産業等への新規参入・受注拡大を目指す意欲的な県内企業

技術提案展示商談会

- ◆医療機器メーカー／電子機器総合メーカー／自動車メーカー／自動車部品一次メーカー 等々が研究・開発・設計・調達各部門で抱える課題、ニーズ

県内企業の技術・製品を提案

①メーカーニーズ発表

②県内企業プレゼンテーション

③県内企業技術展示

④勉強会等専門家からの情報提供

⑤商談

各メーカーのニーズに応じて上記①～⑤の組合せにて実施（オンライン含む）

【成果目標】

- 参加県内企業数 50社
- 新規営業先開拓数 500件
- 見積提出件数 20件
- 商談成立件数 5件
- 新規参入企業数 5社
- 受注拡大企業数 5社

【波及効果】

- ◆高精度部品加工受注企業が増えることによる地域技術レベルの向上
- ◆加工技術精度向上により、今後発注増が期待される半導体関連部品等への受注機会増
- ◆量産品受注拡大に伴い、負荷分散および上流・下流工程各企業への外注が促されることによる地域企業の活性化

【将来の支援目標】

- ◆参入企業を核として地域企業が連携しユニットでの提供ができる体制づくりの構築